

第十一回地蔵まつり 無慮成満御礼

7月14日。関東地方梅雨明け!!
 7月14日。今年初の地蔵まつり
 は暑い日曜日。今年初の地蔵まつり
 のに……

雨を呼びます

7月23日「弘濟寺 地蔵まつり」
 朝から曇り空。午後からはポツポツ降り始め。午後からはポツポツ降り始め。午後からはポツポツ降り始め。午後からはポツポツ降り始め。



「毎年恒例ビエモンゴシ」



「弘のカレー屋さん + マスター」
 俵ぶりのカレーに大満足!

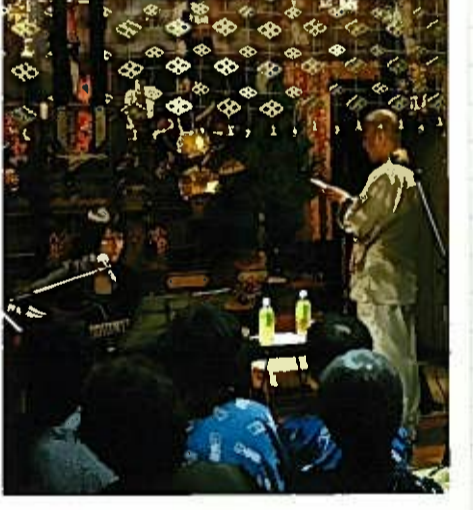


「ボランティアさん」「カーナビさん」

ママさん達に人気のポロコちゃんのパンはあ、という間に売り切れ。おぼ様、おぼ様方は「高野山への道」(映画)を観て、天野の道、舞臺挨拶に聞き入り、楽しんでいました。雨なら雨なりに楽しんでいただけました。おぼ様、おぼ様。

おぼ様、おぼ様方は「高野山への道」(映画)を観て、天野の道、舞臺挨拶に聞き入り、楽しんでいました。雨なら雨なりに楽しんでいただけました。おぼ様、おぼ様。

「牛飼いの話を語り、ドトドトと雨を降らせよう、と今年の出し物に、おぼ様、おぼ様方は「高野山への道」(映画)を観て、天野の道、舞臺挨拶に聞き入り、楽しんでいました。雨なら雨なりに楽しんでいただけました。おぼ様、おぼ様。



そして、法話に、あまりアンコールは、会場は、笑いあり、涙あり。音楽と、笑いあり、涙あり。音楽と、笑いあり、涙あり。



「万葉うじん」のうどんはプリプリ、もちもちで長い!! たっぷりネギとゴマ、しゅうがいの葉末でつゆの中には山芋が……うーたまりない。

この後8月5日、テレビの「ニュース・ハーバー」という番組で、このうたかたりの模様を放映されました。御覧になりたい方は、御座います。



お盆ですね。お盆って何でしょう?

日本では昔1年を2期に分け、お正月とお盆をその節目とし、先祖を迎え、生活の繁栄を祈り、家族の健康を祝うものでした。それが仏教行事の盂蘭盆会と一緒になり、現在の盆盆会になりました。

盂蘭盆会というのは、釈迦の十弟子の「目連」が地獄に落ちた母を飢えと渴きの苦しみから救うため供養をしたという故事です。江戸時代には、土間に親には墓参り、生きてる親には生き身玉(塩を混ぜて干した刺し身)と呼ぶ贈り物をする習慣があったそうです。(後のお中元となる)

この様ないろいろな習慣が習合したものが「お盆」なんですね。この機会に子ども達、孫達にお盆の意味、習慣を語り継いでいきたいと思います。



「幻想的な夜の地蔵堂」



「地蔵まつりに関係してくれたおぼ様に感謝致します。」



もうおぼさんご存知の方、馬は先祖様が早く帰るよ。牛は、お土産の荷物を降せて、ゆっくり帰るよ。うん、うん。